

技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コ　ー　ス　名	期　　　　　間	定員	日数
C3-1	【通信活用型】国際大会で勝つための「実力発揮メソッド」応用	【集合研修日】令和8年2月26日(木)	10	2 (集合1)
開催会場	職業能力開発総合大学校	技能・技術分野	共通	
		技能・技術レベル	L3	
		技能・技術要素	—	
研修のねらい及び到達目標	本研修は、選手の訓練データをもとに動作の傾向やメンタル面の課題を分析し、技能五輪国際大会に向けて選手一人ひとりに応じた具体的な指導とフィードバックを行うことで、メンタルを含めた実践的な対応力と指導力を高めることを目的とし、受講者はコンダクト・スキルを実戦レベルへと発展させる力を習得する。			
最低限必要な知識	「実力発揮メソッド＜基礎編＞」を受講済みの方。 選手と指導者のセットでの受講が必要です。			
研 修 内 容	項　　　　　目（予　定）		講義	実技・演習
	【通信活用研修】 本研修は通信活用研修となっており、集合研修前に事前課題が提示され、集合研修時に解説等でフィードバックされます。			(6) H
	事前課題1 感情のABC分析 (1) ＜基礎編＞にて解説した感情のABC分析を10日分実施 (2) 10日分の内容を分析して考察を記述			
	事前課題2 コーピングのABC分析 (1) ＜基礎編＞にて解説したコーピングのABC分析を10日分実施 (2) 10日分の内容を分析して考察を記述			
	1 感情のABC分析のフィードバック (1) 感情パターンの分析 (2) ネガティブイベントと思考パターンの分析 (3) 事例紹介 (4) 具体的場面解決法（チェンジ・モーメント）の設計		1 H	2 H
	2 コーピングのABC分析のフィードバック (1) コーピングパターンと効果の分析 (2) ネガティブイベントとコーピングの特徴の分析 (3) 事例紹介 (4) 具体的場面解決法（チェンジ・モーメント）の設計		1 H	2 H
			2 H	10 H
リニューアルの概要及びアピールポイント	職種数（２職種）を限定した研修ですので、感情のコントロール等の内容について専門家から直接フィードバックを受けることができます。独習ではわからないことや気づかないことについて質問もでき、より習熟度が深まります。			
研修成果が活用できる職務	職務１	職務２	職務の内容	
担当教員（ユニット）	菊池 拓男 羽田野健 (情報通信ユニット) (外部講師)			
使用する機器等				
受講者が用意するテキスト（予定）				